

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 14 号）の送付について

このことについて、下記のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願  
いします。

- 1 情報の内容 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の越冬量調査結果
- 2 対象作物 うめ、もも、びわ、キウイフルーツ、なし等
- 3 越冬量 平年並
- 4 越冬状況と今後の発生予想

(1) 越冬虫数は、県全体 0.93 頭/2m<sup>2</sup>（平年：1.05 頭/2m<sup>2</sup>）と平年並であったが、東予地域で  
は 1.00 頭/2m<sup>2</sup>（平年：0.58 頭/2m<sup>2</sup>）とやや多であった（表、図）。

(2) 越冬確認地点率は、42.5%（平年：35.4%）であり、平年よりやや多かった（表）。

(3) 越冬世代が活動する 7 月までの発生量は、県全体では平年並と予想されるが、越冬虫数、  
越冬確認地点率に地域差があることから、地域・園地によっては発生に注意する。

5 防除上の注意

(1) もも、なしでは、早めに袋掛けを終える。

(2) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなるので注意する。

(3) 主に山林から果樹園に飛来するため、被害は山林に近い園地で早く発生し、多くなる傾向  
にある。

(4) 園地で飛来を確認した場合には薬剤防除を行う。

(5) 薬剤は登録内容に応じて使用する。また、風向き、散布圧等に注意し、周辺作物への飛散  
防止、周辺環境（魚・蚕・ミツバチなど）への配慮を徹底する。

(6) 飛来が続く場合は、継続的な防除が必要であるが、リサージェンスが起こる可能性がある  
ので、散布後のカイガラムシ類やハダニ類の発生には十分注意する。

表 果樹カメムシ（チャバネアオカメムシ）越冬調査結果

| 地域  | 調査<br>園地数 | 平均越冬虫数/1か所 |      | 越冬確認地点率 (%) |      |
|-----|-----------|------------|------|-------------|------|
|     |           | R4         | 平年   | R4          | 平年   |
| 東予  | 10        | 1.00       | 0.58 | 50.0        | 29.0 |
| 中予  | 10        | 0.70       | 1.75 | 30.0        | 44.6 |
| 南予  | 20        | 1.00       | 0.95 | 45.0        | 34.0 |
| 県全体 | 40        | 0.93       | 1.05 | 42.5        | 35.4 |

1) 越冬虫数は落葉2m<sup>2</sup>当たりの頭数

2) 平年は過去10年間の平年値

(頭/2m<sup>2</sup>落葉)

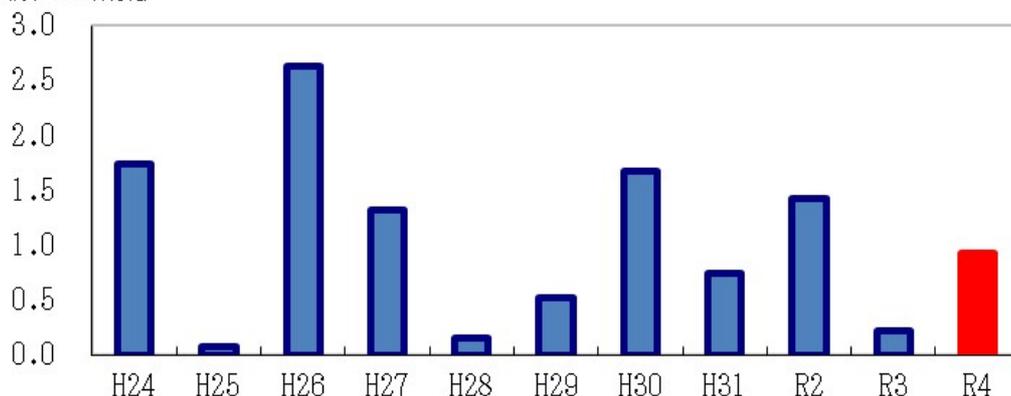


図 チャバネアオカメムシの越冬量調査（全県）